



能登半島地震 2024 奥能登豪雨



今年の元日、16時10分に石川県能登地方を震源とする最大震度7を記録する大きな地震が起きました。新年早々に今まで経験したことのない『地獄絵図』を目の当たりにし、驚きもさることながら揺れは何度となく続き、大きな災害は「いつ自分達にも襲い掛かるかわからない!!」現実の恐ろしさを思い知らされる1年となりました。

＜能登半島地震の被害状況＞ 2024年10月1日現在まで

人的被害状況		
死者 401名	行方不明者 3名	負傷者 1,336名



住家被害についても、全壊 6,421棟(4.8%)、半壊 22,823棟(17.2%)、一部損壊 103,768棟(78.0%)となっており、大規模の地震だったものの一部損壊の割合が全壊・半壊を上回っています。今回の地震の影響は新潟県(約23,000棟被害)・富山県(約22,000棟被害)にも拡がりを見せ、計6人の死亡が確認されており、輪島市での約200棟以上が焼失する大規模火災が何より記憶に残ります。

今回の能登半島地震については『全国地震動予測地図2020年版』において、輪島市は今後30年以内に震度6以上の地震が起きる確率は「僅か1.2%」とされていたのに『震度7』を記録したのです。

しかも、富山県も過去30年間(1992年～2021年)の震災回数が全国最少であり、比較的全国でも「安心の地」であったイメージも一新されました。

そして9月21日～23日にかけて北陸・石川県全域に『大雨特別警報』が発表され、その後、輪島市では猛烈な雨が降り続き、24時間の雨量が約400mmを超えて観測史上最大の大雨により「河川の氾濫」により町は濁流のみ込まれ、土砂崩れ等により道路も寸断されました……能登半島地震と奥能登豪雨の“二重被災”を立て続けに受けた輪島市にとっては、物資輸送および避難活動等が困難を極め、仮設住宅等への浸水被害も発生しており、地震で身体も心も傷付いた上に追い打ちを掛ける状態となっています。



2024年は地震に始まり、終わりの見えない『自然の猛威』に苦しんだ1年となりましたが、災害に見舞われた方々をはじめ、多くの被害者が出ました。

特に、被災された皆さんが1日も早く、平穏な日々の暮らしを取り戻せるようになるため、これからも常に明るさを忘れず、人との温かい関わりや人への思いやりを絶やさず『能登の人々』を、引き続き継続して支援できるように、一歩一歩諦めない「強い精神力」を持って取り組んでいきたいと思ひます。

＜金沢市従業員労働組合 執行部一同＞

重要 Point 2024年は災害と共に生きる力を養う新たな決意の一步!!



組合員の皆さま、今年もいよいよ年の瀬となりました。日頃より、市従労の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和6年を振り返ると、私たちの生活や働き方に多くの影響を与えた出来事の一つとして、元日に発生した能登半島地震が挙げられます。地震による被害は甚大で、被災地の皆さまには、いまだ復興への道半ばにある方も少なくありません。この場をお借りして、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

また、組合としても、募金活動やボランティア支援など皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます。被災地の復興は依然として道半ばであり、組合としても、支援活動を通じて少しでも力になれたことを誇りに思っています。来年も継続的に、復興に向けた支援を続けることをお約束いたします。この地震を通じて、私たちは改めて「働く場の安全」と「地域社会の絆」の重要性を痛感しました。災害時においても、安心して働ける環境を維持することができるよう、来年以降も災害対策の強化や職場の防災意識向上に取り組んでまいります。組合員の皆さまから寄せられる現場の声をしっかりと受け止め、より良い職場環境の実現に向けて活動していく所存です。

一方で、社会や経済の動向が目まぐるしく変化する中、私たち労働者を取り巻く状況も一層厳しさを増しています。しかしながら、労働組合は、仲間と共に助け合い、団結して進むことで困難を乗り越え、未来を切り開く力を持っています。この1年の活動を通じて、改めてその力を実感した次第です。

さて、来年は巳年です。巳は「成長」や「変化」の象徴とされ、脱皮を繰り返して成長する蛇の姿は、困難を乗り越え新たな自分に生まれ変わる力強さを示しています。この干支の教えに倣い、私たちも課題や変化に柔軟に向き合い、新たな可能性を切り開く1年にしたいと考えています。

しなやかで粘り強い巳年の精神は、私たち労働組合の「団結力」と「行動力」に通じるものです。巳年にあやかり、一人ひとりがしなやかに変化に対応しながら、この1年の経験を糧に、来年も共に手を取り合い、より良い職場環境と働き方を目指して令和7年も全力で取り組んでまいります。

最後になりますが、今年こそは、皆さまが穏やかで幸せな年末年始をお過ごしになられますようお祈り申し上げます。来る令和7年も、市従労運動へのご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

それでは、良いお年をお迎えください。



令和6年12月31日

金沢市従業員労働組合 書記長 坂下英之